

本能学区「防災まちづくり」ニュース

VOL. 1
(2020.3発行)

本能自治連合会
本能学区自主防災会
本能消防分団

令和元年度、本能学区では、災害に強いまちを目指し、地域と行政、専門家が協力・連携して「防災まちづくり」の取組をスタートしました。

令和元年11月には、身近な町内の現状や防災上の課題を確認し、防災性を高める具体的な対策を考え、一つひとつ実践することを目的として、『防災まちあるき』を行いました。

当日は、趣旨説明の後、「防災まちづくり」や京都市の支援事業等について学び、4つのグループに分かれてまちあるきを行いました。その後、本能自治会館に戻り、グループごとに振り返りのワークショップを行いました。

「防災まちあるき」の確認ポイント

ポイント1 『みち』の幅や形状等

- 『みち』の幅、通り抜けができるかどうか
- 袋路で、他に避難できそうな箇所がないか
- 傾斜や段差など、避難時に支障になる箇所
- 『みち』の管理状況（自転車や植木など）

ポイント2 『いえ』やブロック塀等

- 災害時に倒壊し、避難や救助の支障になりそうな『いえ』やブロック塀等がないか
- 空き家やゲストハウスの位置や管理状態

ポイント3 防災上、気になるところ等

- 「地域の集会所」の確認、安全かどうか
- 災害時に危険と思われる箇所、災害時に避難できる空き地や駐車場、消火器の位置など
- 大切にしたい京町家や、町並み・景観など

参加者の方からは、『防災の意識を持つてまちを見て歩くと、普段気付かないところがたくさんあり、勉強になりました』、『日頃から防災のことを考えてみたい』、『防災について地域で考える機会が必要』といった感想を頂きました。

みなさんから頂いたご意見やアイデア等を踏まえつつ、引き続き、「防災まちづくり」に取り組んでいきます。（『防災まちあるき』のまとめは裏面をご確認ください。）

「地域の集会所」に安全に避難できるかどうかを確認しました！



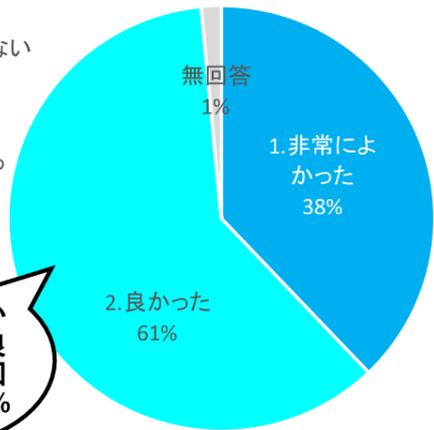
路地の幅を実際に測り、避難のしやすさをイメージしました！

また、令和2年1月には「総合防災訓練」で『避難所運営ゲーム（HUG）』にも取り組みました。

『避難所運営ゲーム（HUG）』は、災害時の避難所で起こりうる様々な出来事を模擬体験するゲームであり、住民のみならず避難所運営の大変さを理解して頂くとともに、災害が起る前から地域で考えておくことを明らかにしたり、今後の課題や対応策を検討し、避難所運営マニュアルなどを改定する際に役立てることを目的として実施しました。

令和元年度「総合防災訓練」参加者アンケートのまとめ

問1：『避難所運営ゲーム』を体験された感想は？



「非常に良かった」と「良かった」の回答者が約99%

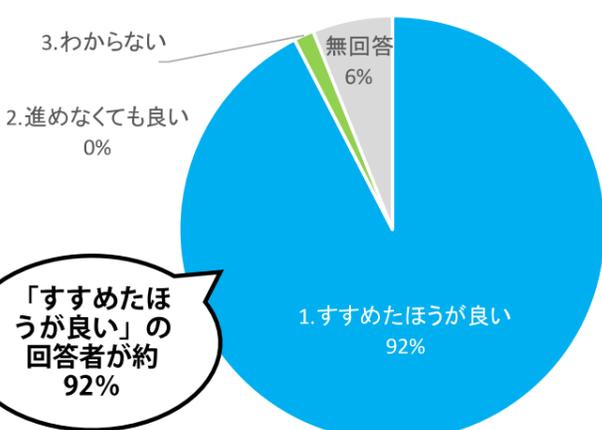
問2：災害時の避難所運営に当たって、配慮しておくこと。

- ・災害が起きてからリーダーを決めることは大変なので、トップから円滑に運営できるように組織を作っておくべき。
- ・運営のリーダーシップがとれる人をピックアップして、前もって複数人決めておく方がよい。
- ・個々の意識を常に高めなければならぬ。自分が何をできるかを考えるべき。
- ・本能の体育館の狭さを考慮した運営の仕方を検討すべき。
- ・子ども、年配の方、要介護者、要支援者、自治会に加入していない人、ホテル宿泊者の対応。
- ・体育館の通路に印をつけるなど、事前準備が必要。
- ・地区内の連絡網の強化。
- ・災害対策のマニュアルが必要。
- ・避難時の持ち物の準備。

問3：今後、『総合防災訓練』で取り組んでほしいこと。

- ・近隣の付き合いの機会がほしい。
- ・町内で災害備品の話し合いがしたい。
- ・身の回りのもので防災グッズの作り方を教えてほしい。
- ・学区全体の参加者を増やすことが重要。マンションなどへの告知を増やしてほしい。
- ・防災委員や町内会長だけが出るのではなく、学区全体で出られる人は全員出て、避難所にとりあえず集まる訓練をして欲しい。
- ・毎年繰り返しすることで、対応レベルを向上させられる。
- ・実際の避難所の平面図で、今回の「HUG」を実施したい。
- ・今回のような具体例に沿った内容だと現実味がわきよい。
- ・AED、消火器はもちろん、ボール、ジャッキの使い方の講習。

問4：今後も「防災まちづくり」の取組を進めるべき？



「すすめたほうが良い」の回答者が約92%

裏面もご覧ください！



事前に考えておくべき避難所のルールについて話し合いました！



災害時の避難所の運営体制について考えました！



トイレ、ペット、観光客の対応などについて、話し合いました！



避難者が抱える事情を踏まえ、どこに誘導するかを考えました！

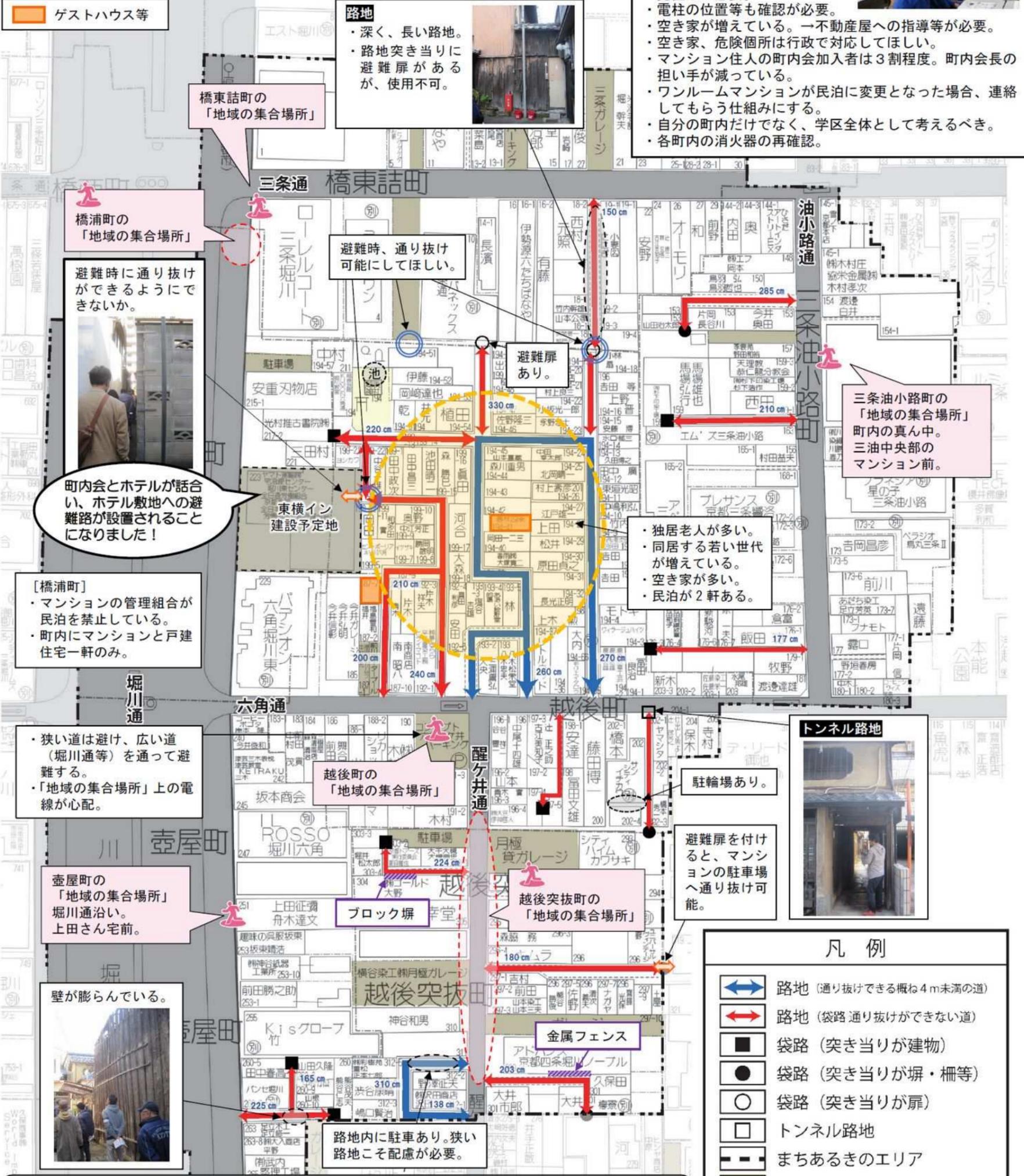
本能学区『防災まちあるき (R1.11.17)』の再確認

(総合防災訓練 R2.1.19)

【グループ1 (橋東詰町、橋浦町、越後町、三条油小路町、壺屋町、越後突抜町)】

【主なご意見 (全体)】

- ・路地が多い。
- ・コミュニティをしっかりとしておくことが大切。
- ・「地域の集合場所」は、もっと現実的な避難場所がよい。→見直しが必要。
- ・電柱の位置等も確認が必要。
- ・空き家が増えている。→不動産屋への指導等が必要。
- ・空き家、危険箇所は行政で対応してほしい。
- ・マンション住人の町内会加入者は3割程度。町内会長の担い手が減っている。
- ・ワンルームマンションが民泊に変更となった場合、連絡してもらう仕組みにする。
- ・自分の町内だけでなく、学区全体として考えるべき。
- ・各町内の消火器の再確認。



ゲストハウス等

路地
・深く、長い路地。
・路地突き当りに避難扉があるが、使用不可。



橋浦町の「地域の集合場所」

避難時に通り抜けができるようにできないか。



町内会とホテルが話し合い、ホテル敷地への避難路が設置されることになりました!

【橋浦町】
・マンションの管理組合が民泊を禁止している。
・町内にマンションと戸建住宅一軒のみ。

・狭い道は避け、広い道(堀川通等)を通して避難する。
・「地域の集合場所」上の電線が心配。

壺屋町の「地域の集合場所」堀川通沿い。上田さん宅前。



避難時、通り抜け可能にしてほしい。

避難扉あり。

三条油小路町の「地域の集合場所」町内の真ん中。三油中央部のマンション前。

・独居老人が多い。
・同居する若い世代が増えている。
・空き家が多い。
・民泊が2軒ある。



駐輪場あり。
避難扉を付けると、マンションの駐車場へ通り抜け可能。

越後町の「地域の集合場所」

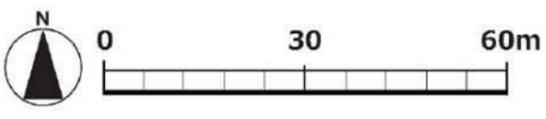
越後突抜町の「地域の集合場所」

金属フェンス

路地内に駐車あり。狭い路地こそ配慮が必要。

凡例

| | |
|--|----------------------|
| | 路地 (通り抜けできる概ね4m未満の道) |
| | 路地 (袋路通り抜けができない道) |
| | 袋路 (突き当たりが建物) |
| | 袋路 (突き当たりが塀・柵等) |
| | 袋路 (突き当たりが扉) |
| | トンネル路地 |
| | まちあるきのエリア |
| | お寺・お宮さん等 |
| | 駐車場・空き地等 |
| | 公園 |
| | 地域の集合場所 |



『防災まちあるき』に参加された感想・思ったこと等

- ・普段気付かない様々なまちの魅力や、防災上の課題を見つけることができました。まちあるきを一緒にした方々と昔の状況を聞いたのも大変有意義でした。
- ・まちあるきをして、地域の安全な所、危ない所の再認識ができて良かった。
- ・自分の住んでいる町内等をじっくり見せていただき、路地が多かったり、空き家があったりと、いつも自転車で走ってしまいましたが、町内、学区を歩いてみるのも大切なことだと思いました。

安全・安心なまちづくりに関する意見・アイデア等

- ・防災、減災には地域住民間のコミュニケーションが大切だと思います。住民同士のあいさつ、声掛けが住民の安全確認等につながると思う。

本能学区『防災まちあるき (R1.11.17)』の再確認

(総合防災訓練 R2.1.19)

【グループ2 (塩屋町、狸々町、柳水町、本能寺町、六角油小路町、元本能寺町、池須町)】

【主なご意見】

[全体]

- ・古い財産が残っている。人があたたかい。
- ・木造住宅の被害は大きく、高齢者だけの世帯は避難が心配。
- ・電線が多い。隣家との間がない。
- ・消火バケツに水が入っていない。→自治体からバケツに水を入れるよう促してはどうか。
- ・災害時のアナウンスがない。
- ・地域内での情報共有が不足している。情報共有システムはないが、回覧版で情報は回している。
- ・町内で防犯意識に差がある。
- ・地域で集合場所を決めて、周知させるべき。第一集合場所の意味を伝える。
- ・本能自治会館は200人～300人収容可能。

[マンション]

- ・マンション人への情報提供が必要。→自治会と話し合い、マンションとの協定を決めてはどうか。
- ・マンションには受水槽しかない。
- ・マンションを含む町籍名簿が必要。



本能公園

- ・公園にかまどベンチを設置してはどうか。

凡例

- 路地 (通り抜けできる幅4m未満の道)
- 路地 (袋路 通り抜けができない道)
- 袋路 (突き当りが建物)
- 袋路 (突き当りが塀・柵等)
- 袋路 (突き当りが扉)
- トンネル路地
- まちあるきのエリア
- お寺・お宮さん等
- 駐車場・空き地等
- 公園
- 地域の集合場所

ゲストハウス等

井戸がモーター式なので、災害時の停電時でも動くようにできると良い。

大きなマンションの町内会に入っている世帯数が分からない。

トンネル路地

- ・コンクリートブロック塀がある。
- ・室外機の支えが木造。
- ・物置がある。
- ・路地の入口部分の2階は使われていない雰囲気。
- ・老朽化した井戸。→災害時に使用できるように登録、補助が必要。



池須町の「地域の集合場所」

「地域の集合場所」が周知されていないかもしれない。

空きビルあり。建物が老朽化して、防犯の心配がある。

路地

- ・感知式の電灯があるが、少ない。
- ・道幅が狭い。路地内に自転車の駐輪あり。
- ・ゲストハウスが多い。
- ・タバコの始末が心配。

『防災まちあるき』に参加された感想・思ったこと等

- ・何気なく通っていると気付かないことをたくさん発見することができました。
- ・初めて袋路に入って、堀とかの突き当りを確認して良かったと思いました。
- ・改めて防災についての意識力が増し、危険箇所を確認できたところが良かったです。

安全・安心なまちづくりに関する意見・アイデア等

- ・わかっていても、なかなか「当事者意識」を持つことができないが、こういうふうに思いをめぐらす機会があると気を引き締めることができるので参加する機会がある時はちゃんと参加しないと、と思った。
- ・現時的で、想像することが大事なかなと思いました。夜になるとどうか？人が集まるとどうか？など。
- ・防水バケツがあっても水がはられていない所があり、もう少し目を向けてほしい。

本能学区『防災まちあるき (R1.11.17)』の再確認

(総合防災訓練 R2.1.17)

【グループ3 (亀屋町、山田町、錦堀川町、三文字町、藤西町)】

【主なご意見】

- ・堀川高校があるため、あまり避難上の不安は感じない。
- ・ゲストハウスなど把握できている。
- ・防火バケツに水が入っていないところがある。
- ・マンション住人は集合場所を知らない人が多い。
- ・マンション町では役員を担う人がいない。
- ・常々から、防災について考える必要がある。
- ・非常時、ビルの管理者は、地域よりビル入居者の安全を優先するかも。集合住宅への避難所の配慮、提示が必要。
- ・毎年来ているが、いつも町内の若い人が来ていない。もっと若い人に知ってほしい。
- ・マンションが多い町内だが、どれだけの人が住んでいるのかわからない。マンション住民も避難所に行っても良いか。



堀川高等学校

- ・災害時に使用したい。学区内に協力してほしい。
- ・本能はすぐに満員になるので、堀川高校に入れるようにしてほしい。隣接した堀川通は広いから、救助の車も入りやすい。
- ・堀川高校には、中京区全体の貯水槽がある。
- ・高校をもっともっと開放してほしい。情報を公開してほしい。

亀屋町の「地域の集合場所」
鳥居の屋根が危ないので、寺の門の前に変更した。

三文字町の「地域の集合場所」

山田町の「地域の集合場所」

藤西町の「地域の集合場所」

錦堀川町の「地域の集合場所」

高さ1m強のひび割れのあるブロック塀がある。

堀川高校グラウンドへ通り抜けできる扉がある。障がい者の方が出入りするため、避難時、扉を開くために補助を必要とする場合がある。

路地
・補強すれば安全になる。

現在は、ガレージになっている。

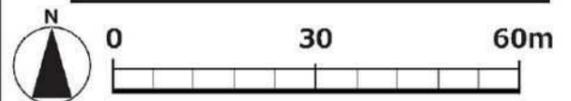
セブンイレブンはもうない。

トンネル路地
・路地奥に災害時の避難に有効な空き地がある。
・ブロック塀で通行できないが、避難扉ができれば通り抜けができる。



凡例

- 路地 (通り抜けできる概ね4m未満の道)
- 路地 (袋路通り抜けができない道)
- 袋路 (突き当たりが建物)
- 袋路 (突き当たりが塀・柵等)
- 袋路 (突き当たりが扉)
- トンネル路地等
- まちあるきのエリア
- お寺・お宮さん等
- 駐車場・空き地等
- 公園
- 地域の集合場所



『防災まちあるき』に参加された感想・思ったこと等

- ・日頃意識せずにまちを歩いているのですが、防災の観点からまちを見つめると危険な所、改善した方が**良い所**があることがわかりました。やはり日頃から意識して生活していくことが大切だと感じます。
- ・普段歩いている時の視点と違った視点で歩けたこと、**新しい体験**でした。
- ・歩いてみて、色々とお気になることなどわかりました。**みんなの町内の方が来ていただいたら良い**と思いました。
- ・身近な地域でも、**意外と知らないことが多い**なあと感じました。特に路地などは普段は入りにくい所もありましたので、とても良かったです。

安全・安心なまちづくりに関する意見・アイデア等

- ・住民に情報が伝わる**ことが大切**だと思います。意識を高めるにはどのようにすれば良いか考えて、やはり**住民同士が日頃から顔見知り**になって、**地域共同体**という利点を生かすことが大切だと思います。
- ・マンションなどの**集合住宅における安全の確保**をどのように考えていくべきか、改めて考える一時となりました。
- ・あまり考える機会もなかったため、**災害と町内について改めて考えたい**。駐車場は思いの外あるのに、**防災的に利用されていない場合も多かった**ので、**地域の一つの広場として駐車場をとらえたい**。

本能学区『防災まちあるき (R1.11.17)』の再確認

(総合防災訓練 R2.1.17)

【グループ4 (元本能寺南町、古西町、藤本町、空也町、蟻螂山町)】

ゲストハウス等

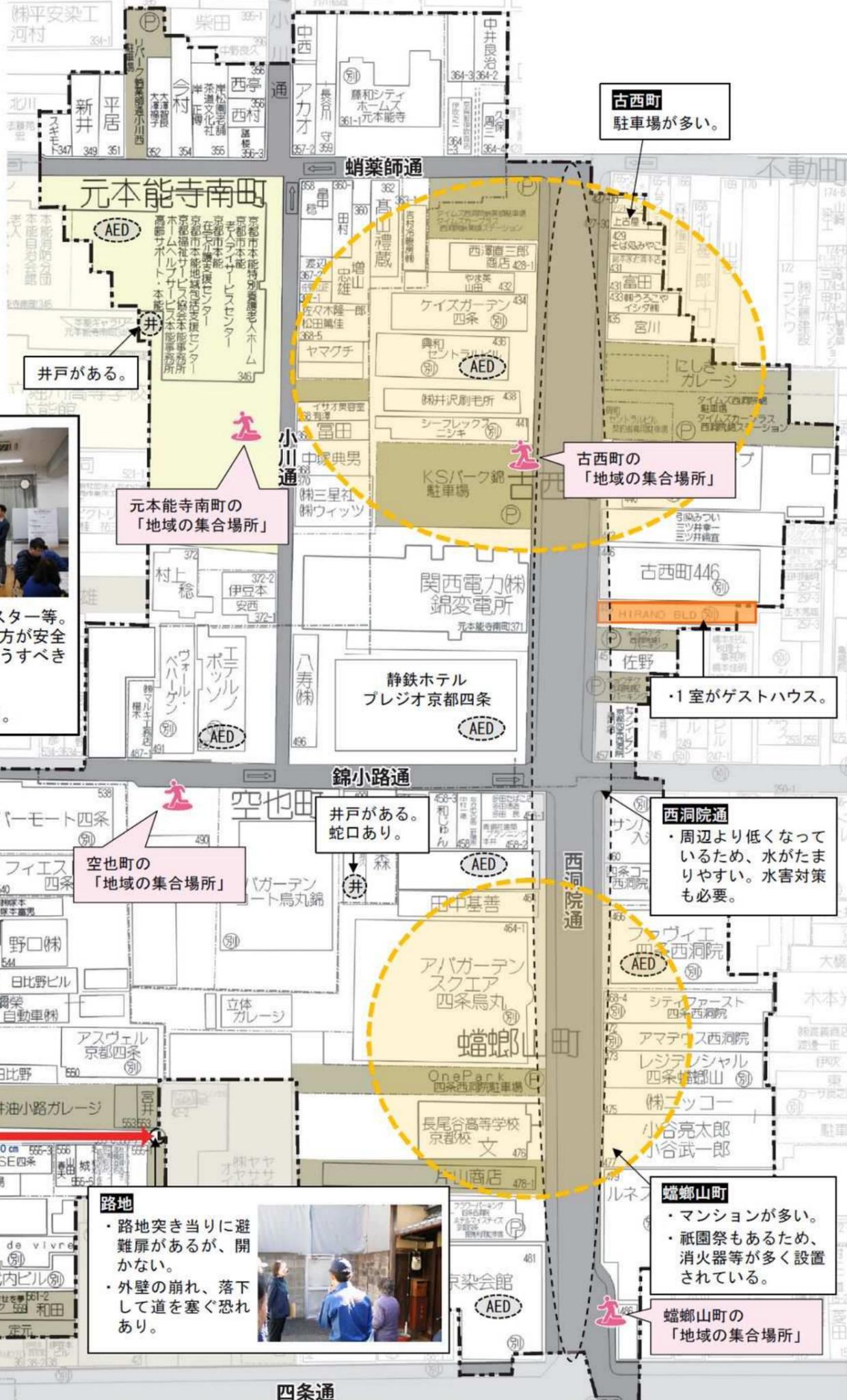
凡例

- 路地 (通り抜けできる幅4m未満の道)
- 路地 (袋路 通り抜けができない道)
- 袋路 (突き当たりが建物)
- 袋路 (突き当たりが塀・柵等)
- 袋路 (突き当たりが扉)
- トンネル路地等
- まちあるきのエリア
- お寺・お宮さん等
- 駐車場・空き地等
- 公園
- 地域の集合場所

【主なご意見】

【全体】

- ・細い路地は少ない。
- ・空き家は増加の見込み。
- ・80歳以上の高齢者が多い。
- ・地域間の認知・交流が必要。
- ・観光客が多く、災害時の対応が必要。ポスター等。
- ・避難所に全員収容するのは難しく、家の方が安全かも。家で待機する場合、情報共有はどうすべきか？
- ・AEDの設置が多く見られる。
- ・グループ3の路地では、子どもが遊べる。



『防災まちあるき』に参加された感想・思ったこと等

- ・普段入れない路地に入れて良かった。他町の方と情報を共有できた。
- ・防災を考えるきっかけとなりました。
- ・防災について、地域の方とみんなで考えられる良い機会だと思いました。実際にまちあるきすることで、改めて知ることや、新たな発見があるとともに共通認識が持て、防災意識の向上に繋がると感じました。
- ・町内により、防災への準備の仕方が違うのだと実感しました。

安全・安心なまちづくりに関する意見・アイデア等

- ・地域住民の連携が必要。災害を想定した危険回避の詳細を見える形にしてほしい。
- ・町内会で年に一度、防災意識を高めるよう「防災食」等を各家庭(全家庭)にお配りしています。マンションが多いので、少しでも町内への繋がりを持っていただけよう、直接手渡ししています。
- ・マンション住人はマンションで待機することで、避難場所のキャパシティが補える。マンションが避難場所としてきちんと機能するための情報提供も必要。
- ・旅行者への対応。地域で知り合いを増やす。
- ・文化財の保護、外国人対応、西洞院通の浸水対策。